

私の人生は終わった・・・ ～入所から在宅復帰までの軌跡～

第33回 老人福祉施設研究発表会
社会福祉法人 北海道ハピニス
特別養護老人ホーム 和幸園
発表 介護主任 星田 恵実
生活相談員 杉田 隆介

事例紹介

A様 女性

昭和3年生まれ 83歳

要介護3 障害程度区分 IIIb

主な疾患：慢性疼痛 うつ状態、腰痛症

住 居：持ち家 独居

ショートステイまでの経緯

入居2ヶ月前	自宅で転倒→全身疼痛 食欲不振、倦怠感 気管支喘息発作 低ナトリウム血症	} 2ヶ月入院
入居1ヶ月前	退院 在宅困難 自費宿泊サービス 和幸園ショートステイ依頼	
入居	和幸園ショートステイ開始	

利用開始当初の状況

- ・全身疼痛
- ・表情乏しく、意欲低下顕著
- ・食欲不振
- ・自発語ほとんどなし
- ・離床拒否

支援の方向性

アセスメント



ケアプランの立案



多職種連携による実践

—原因—

家に帰れないこと？

トイレにいけないうこと？

基本ケアは??

基本ケアとは

【水分】

1日1,500mlを目標

高齢者は身体の50%が水分

《水分が足りないと》

- ・意欲低下
- ・傾眠
- ・歩行悪化
- ・認知症の不穏症状出現
- ・微熱

《取り組み》

- ・好きな飲み物の把握
- ・様々な種類の飲み物を用意
- ・飲みやすい食器の工夫
- ・こまめな促し
- ・寒天ゼリーやヨーグルトなどの提供

基本ケアとは

【歩行】

- ・歩けないのは「歩き方を忘れた」
 - ・つかまり立ち5秒が可能なら歩行器歩行練習
 - ・つかまり立ち5秒不可能なら座位、立位練習
 - ・反復歩行練習
- 日常生活の中で、短距離から距離を伸ばす

基本ケアとは

【食事】 利用者の大きな楽しみ

きざみ食
おかゆ
ペースト食
ミキサー食
やわらか食

口腔機能低下

そしゃく、頬筋、
舌の運動低下



開口不全 舌突出不全



常食化へ

基本ケアとは

【食事】 常食化のために

- ・水のみテスト
- ・義歯の調整
- ・スルメを使ったそしゃく訓練
- ・姿勢 → 足を床につけ背中ハマッすぐ
顔は上向きにならない
車椅子利用者は必ず椅子に移動

基本ケアとは

【排便】 下剤や浣腸に頼らない

- ・規則的生活

- ・常食 ・水分

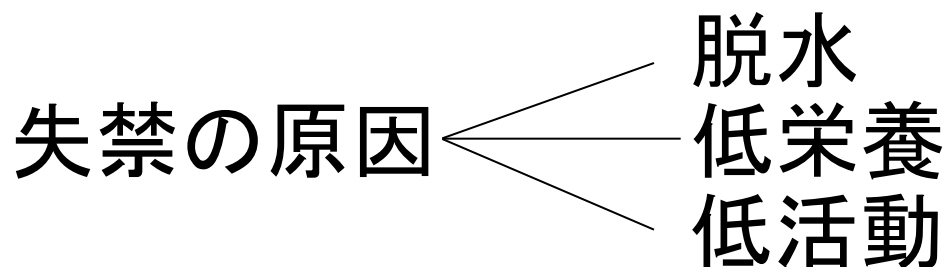
(起床時の冷水、牛乳は胃・大腸反射で排便促進)

- ・食物繊維(寒天ゼリー、ファイバー、野菜、海藻等)

- ・身体活動 ・定時排便 ・座位排便

【排尿】 おむつをつけていると尿意、便意は失われる

失禁の原因



- 脱水
- 低栄養
- 低活動

基本ケア状況

	入居時	ケアプラン
水分	700ml～800ml	1500ml
食事	おかゆ やわらか食 摂取量 1/3	常食常菜
排泄	紙パンツ＋パット 尿失禁 便秘	布パンツ 失禁の減少 便秘の解消
歩行	なし 車椅子 部屋に引きこもる	歩行器歩行

引きこもりの解消へ

「話相手もいなく暇でねえ。
背中も痛いし、左足も病んで
歩けるようになりたいけど・・・
このままの方が楽だから」



職員がこまめに部屋に伺い
水分の促しと会話を心がける



離床へ

歩行プログラムの開始

PTによる歩行リハビリプログラム作成

歩行器歩行(5秒つかまり立ち可能)

食堂からトイレ、部屋からトイレ(5メートル程度)



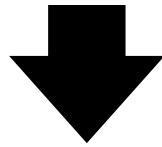
痛みの訴え、拒否



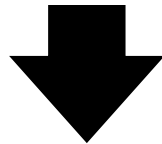
断念

発見

指にタバコのヤニによる変色が



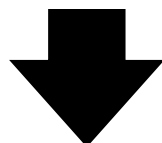
愛煙家！？



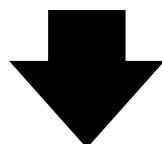
毎食後2本ずつ喫煙する楽しみができる

歩行プログラムの再開

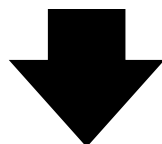
2階の居室から1階の喫煙所まで
車椅子で1日3回の日課



売店で買物 庭で外気浴 多くの方々と会話



活動性が増し、下肢の浮腫や膝の痛み軽減



歩行器歩行練習再開

歩行距離の伸び

歩行器歩行

食堂からトイレ、部屋からトイレ(5メートル程度)



排泄の自立



意欲の向上



2階の居室から1階の喫煙室往復(70メートル程度)

A様の変化

- ・疼痛訴えの激減
- ・表情豊か
- ・食欲向上
- ・他の利用者との会話を楽しむ

基本ケア改善傾向

	入居時	2ヵ月後
水分	700ml～800ml	1,500ml
食事	おかゆ やわらか食 摂取量 1/3	常食 常菜 摂取量 ほぼ全量
排泄	紙パンツ+パット 尿失禁 便秘	トイレ 布パンツ 失禁がなく、尿意が明確 便秘改善
運動	なし 部屋に引きこもる	歩行器歩行介助なしで可能
入浴	機械浴	一般浴

心の移りかわり

入居時 「私の人生は終わった・・・」

1ヵ月後 「トイレに行けないから和幸園に世話になるしかない」

2ヵ月後 「歩く自信がいたら家に帰りたい」

3ヵ月後 「もっと歩く練習したい」

4ヵ月後 「もう一人でトイレに行けるようになったから家に戻れる」

在宅復帰にむけた社会資源の活用

ケアマネジャー中心に在宅復帰への環境整備

介護保険

歩行器、特殊寝台
レンタル
デイサービス
ホームヘルプ

インフォーマル
サービス

隣人Bさん
友人、知人

在宅復帰

5カ月後

「今まで本当にありがとう！
みんなのおかげで元気になれた」

とびっきりの笑顔

まとめ

基本ケアを忠実に行なうことにより、
その方の力を最大限に引き出し、
自立に向けた支援を行う事ができる

あきらめないで取り組むことで、
どこかに必ず支援のきっかけを
見つけることができると信じ、
今後取り組みます。

ご清聴ありがとうございました